

映画『プラネット B-BOY』

パイヤ鈴木さんトークイベントレポート



<日時> 2009年12月17日(木)【上映開始】13:30～

<場所> シネマート六本木

<登壇者> パパイヤ鈴木【43】、Q-TARO(電撃チョモランマ隊)

ブレイクダンス世界三大会のひとつ バトルオブザイヤーファイナル 2005 の舞台裏を追ったドキュメンタリー映画『プラネット B-BOY』の公開を記念してダンス界の大御所パイヤ鈴木さんと、バトルオブザイヤー日本の MC 等もつとめる電撃チョモランマ隊の Q-TARO さんにご登壇いただき、ダンスの魅力について大いに語っていただきました。

パイヤ鈴木: 僕もこの作品に出てくる『フラッシュダンス』がブレイクダンスと出会うきっかけでした。

『プラネット B-BOY』は文化のあるところでブレイクダンスをしっているのでブレイクダンスを少し高尚なものにしようという監督の姿勢がみえますね。世界大会の参加者なのに学校みたいなところに宿泊したり、華やかなダンスバトルの裏側が見られるのが貴重で面白いと思います。それにしても、優勝して賞金 30 万円とは少なさ！と思いました。最近ではアジア勢も台頭していて特に韓国のチームなんかすごいですが、欧米諸国の人とかは「あれはグローブが無い体操だ」と言う人もいますね。私も少し体操だなんて思うのですが…。そんな中で日本のチームも世界で評価をうけ ALL AREA が今年のベストショーを獲得していたり、本作の舞台 05 年大会では“一撃”が準優勝と、ベストショーを獲得しているのはうれしいことです。

B-BOY の人とかってみかけが怖いですよね。EXILE さんも知り合いだから大丈夫ですけど、知らなかったら怖いですが。でもいかつい格好したりするのは元々ブレイクダンスがケンカをしないためにダンスで対決というところから威嚇をしたりするからなのですね。

私も形から入るのは好きなのですが、ポージングとかファッションにも色々意味があるんですね、それを知っていくとさらに楽しめると思います。ダンスはどうすればうまくなりますか？と良く聞かれるのですが、僕は“着替えること”だと思います。気持ちが切り替わって集中できるので魅せるという意味でも着替えることは重要だと思います。上手く踊ることより“良い”踊りを目指すすよと思います。

ブレイクダンスをやっている人、やりたい人には参考書ともなるような『プラネット B-BOY』は表舞台だけではなく人間的な生々しさや文化的な背景も盛り込まれているので是非観てもらえればと思います。まだダンス自体が日陰の存在でもあるので、私がやっているダンス向上委員会共々盛り上げてもらえればと思います！！よろしくお願ひします。

Q-TARO: バトルオブザイヤー日本の 2003 年の MC もつとめさせていただいたという縁もあり今回 MC をさせていただいてます！劇中の 66 歳のおばあちゃんのダンスなんてまさに良い踊りでしたね！また「ダンスは人々に希望を与えます」というフレーズが、グッと来ましたね！是非ダンスを盛り上げましょう！

映画『プラネット B-BOY』

2010年1月9日(土)よりシネクイントにて3週間限定レイトショー！！

© 2008 Planet B-Boy, LLC. All Rights Reserved.

本レポートに関するお問合せ

配給:トルネード・フィルム tel:03-5766-7490/fax:03-5766-7491(宣伝:山澤)

2010年1月9日(土)よりシネクイントにて3週間限定レイトショー！！